

かがみい 議会だより

No. 198
令和7年11月
発行 福島県鏡石町議会
編集 広報広聴常任委員会
〒969-0492 福島県若菜郡鏡石町 不時沼345
電話0248(62)2110
印刷 (有)永山印刷



上：よさこい演舞を披露する鏡石幼稚園児 下：交通安全パレードを披露する鏡石二小の児童

『鏡石牧場の朝オランダ秋祭り』が10月4日に、駅前で開催されました。「スポーツの音楽のオランダとの絆」をテーマに、歌や踊りなど多彩なパフォーマンスが盛大に行われました。

目次

第9回定例会	2～4ページ
審議結果報告	5～6ページ
議会トピックス	7ページ
一般質問	8～11ページ
町民の声・編集後記	12ページ

町民の声 何でも言って!! みんなの願い・想い

『鏡石町ソフトボール協会から
のお願い』会員
不足なので、興
味のある方、や
ってみたい方
の参加をお待ち
しております。町
民の協力もお願い
したい。



石井 孝史 さん

何をしてほしい
どんな「まち」に
してほしい

町の老人会を復
活してもらいた
いです。今は、
行政区でも数ヶ
所しかないので、
笠石にも町の老
人会を復活して
ほしい。



面川 平六 さん

町民の皆さんの声を議会だよりで紹介いたします。
多くの声をお待ちしています。

「町民の声」提出先 鏡石町議会事務局

〒969-0492 鏡石町不時沼345 電話62-2110
☆町ホームページからも投稿できます。 URL / www.town.kagamiishi.fukushima.jp/



スマートフォン
はコチラ

福島県町村議会議員 研修会に参加

去る10月20日(月)、郡山市のビッグパレットふくしまにて福島県町村議会議長会が主催する町村議会議員研修会が開催されました。

研修会では、町村議会に関する様々な場面で活躍されている江藤 俊昭(えとう としあき) 大正大学 教授、政治ジャーナリストとして多数のTV番組に出演され、駿河台大学 客員教授でもある 田崎 史郎(たざき しろう) 氏による『地方議会・議員の役割と議会改革の必要性』、『今後の・政治展望』についての講演を聴講しました。自身の見識を深める事ができた非常に有意義な研修会でした。



編集後記

9月の定例会では、昨年度の決算が審査され、認定されました。今までにない暑さの夏が過ぎ、朝晩涼しくなってきました。町民の皆様においては、スポーツ、文化そして食欲の秋を満喫されている事と思います。

今月から広報広聴常任委員も新たな委員に代わりました。議会活動をよりわかりやすく発信し、皆様の役に立てるよう努力を進めて参りますので、ご意見・ご要望等をお寄せいただきましたと思います。

発行責任者

議長 角田 真美

広報広聴常任委員会

委員長	熊倉 正麿
副委員長	町島 洋一
委員	東 悟
委員	込山 靖子
委員	円谷 寛
委員	角田 真美

監査委員の決算審査・財政健全化審査意見（要旨）

- ◎審査に付された一般会計、特別会計、上水道及び下水道事業会計の歳入歳出決算書・歳入歳出決算事項別明細書、実質収支に関する調書及び財産に関する調書は法令に準拠して作成されており、決算計数は関係帳簿及び証拠書類と照合した結果、誤りないものと認められた。
- また、各基金の運用状況を示す書類の計数についても、関係諸帳簿及び証拠書類と符合しており、誤りのないものと認められた。
- ◎財政健全化審査で、健全化判断比率及びその算定の基礎となる事項を記載した書類は、いずれも適正に作成されているものと認められた。是正改善を要する指摘事項はない。
- ◎令和6年度の日本経済は、最低賃金の問題、景気の上昇が右肩上がりとならない状況での物価上昇、更にはトランプ関税により景気の下押し懸念から減速の見通しとなっている。
- 一方、町政においては、健康福祉センター建設、鳥見山陸上競技場トラック改修工事等に力を注ぎ施設が完成したことから町民の利活用を期待するところである。
- 上下水道事業においては、財政状況が厳しいところから、今後の財政基盤をどのようにするか慎重に検討し、方向性を最優先課題としてほしい。

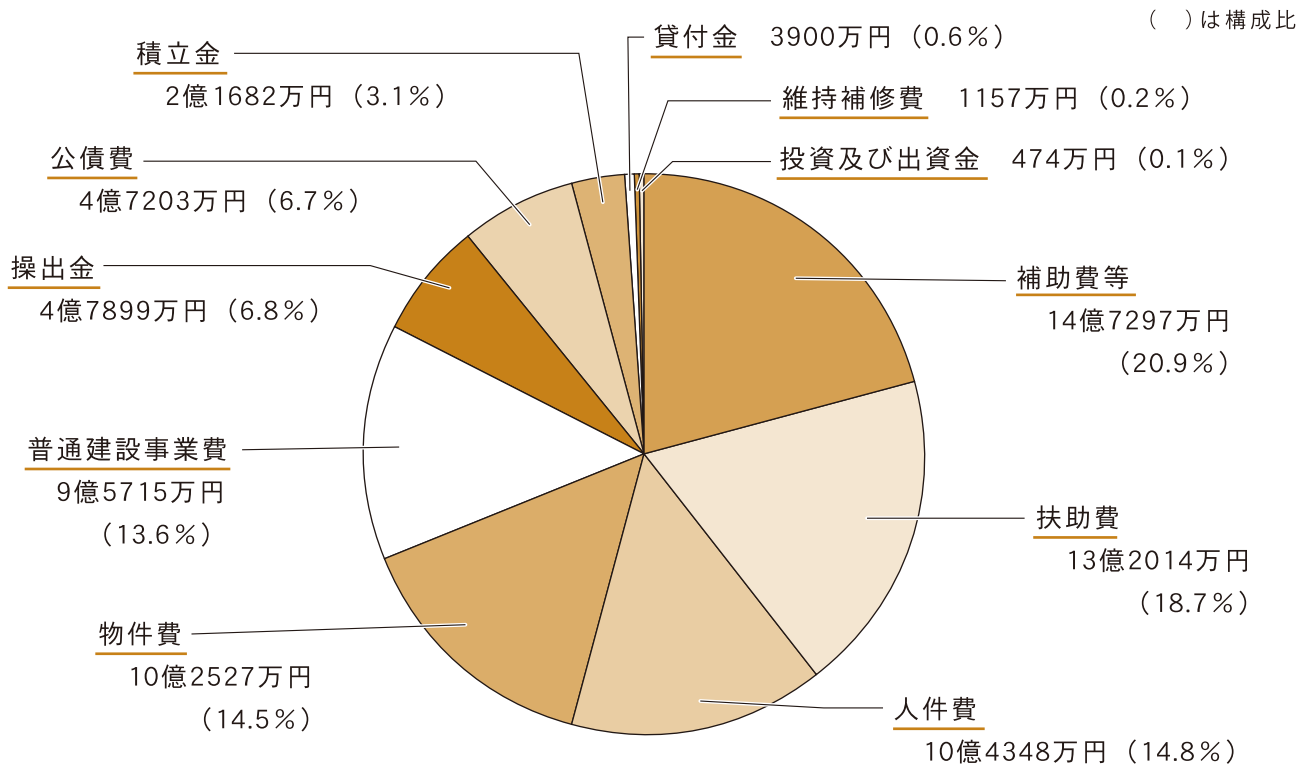
主要財政分析指標

	令和6年度	令和5年度	令和4年度
財政力指数	0.553	0.563	0.583
経常収支比率	86.0%	79.3%	84.3%

財政健全化判断比率

	令和6年度	令和5年度	令和4年度	早期健全化基準
実質赤字比率	—	—	—	15.0%
連結実質赤字比率	—	—	—	20.0%
実質公債費比率	10.1%	9.6%	9.0%	25.0%
将来負担比率	107.2%	100.6%	68.9%	350.0%

令和6年度一般会計決算（歳出） 70億4216万円の性質別内訳



町債残高の推移

	令和4年度		令和5年度		令和6年度	
		増減		増減		増減
普通会計	6,362,445	96,162	6,892,894	530,449	6,994,592	101,698

※普通会計（一般会計、駅東第1土地区画整理事業特別会計）



【第9回定例会の議事日程】

開催日	会議内容
9月3日（水）	本会議（人事案件、条例改正等）
9月4日（木）	本会議（一般質問4名）
9月8日（月）	各常任委員会
9月9日（火）～12日（金）	決算審査特別委員会
9月18日（水）	本会議（決算認定、補正予算等）

第9回鏡石町議会定例会は、9月3日から17日までの15日間の会期で開催されました。今定例会では、令和6年度各会計決算や補正予算など23件の議案が審議され、21件が可決・認定・許可、不許可・不採択が各1件となりました。また、一般質問では、4名の議員が登壇しました。

令和6年度の各会計歳入歳出決算認定については、決算審査特別委員会（熊倉正麿委員長）が設置され、9月9日から12日までの4日間、審議を行いました。特別委員会では、全会計決算を認定すべきと決定し、本会議でも全会一致で決算が認定されました。なお、公営企業会計（上水道及び下水道事業会計）を除く歳入歳出決算総額は、10億1042万円で、実質収支は1億8821万円の黒字決算となりました。（表1参照）

その他の議案では、教育委員の任命などの人事案件、各条例の一部改正、令和7年度各会計の補正予算などが審議されました。（審議結果は4～5ページ）

令和6年度決算を認定

令和7年9月
第9回定例会

令和6年度各会計決算を認定
歳入決算総額は100億1042万円
1億8821万円の黒字決算

【表1】令和6年度 歳入歳出決算総括表（公営企業会計を除く）

会計区分	歳入（A）	歳出（B）	形式収支（A）-（B）	実質収支
一般会計	7,152,675	7,042,162	110,513	109,330
国民健康保険特別会計	1,231,544	1,223,743	7,801	7,801
後期高齢者特別会計	145,438	144,718	720	720
介護保険特別会計	1,293,086	1,228,047	65,039	65,039
土地取得事業特別会計	109	0	109	109
工業団地事業特別会計	45,367	44,314	1,053	1,053
鏡石駅東第1土地区画整理事業特別会計	137,952	135,011	2,941	1,941
育英資金貸付費特別会計	4,252	4,218	34	34
合計	10,010,423	9,822,213	188,210	186,027

※実質収支とは、形式収支（歳入歳出差引額）から翌年度へ繰越すべき財源を控除したものです。

令和7年度一般会計補正予算の主な内容

（歳入）	
・前年度繰越金	7933万円
・文教施設維持整備基金繰入金	1億2511万円
（歳出）	
・財政調整基金積立金	4000万円
・かがみいしこども未来基金積立	1億6351万円
・プレミアム付商品券発行時業	3566万円
・町道舗装改修工事	3660万円

令和7年度の一般会計補正予算は、4億628万円が増額となり、総額は70億481万円となりました。また、国民健康保険特別会計などの各特別会計は、主に前年度繰越金を整理する補正予算となりました。

令和7年度の
各会計補正予算が
可決

教育委員会委員1名を再任

任期満了に伴う教育委員会委員1名の選任案が提出され、全会一致で同意されました。

任期は、令和7年10月1日から4年間となります。

【再任】
藤島 絵美 氏（南町）

副議長を新たに選任

今定例会初日となった9月3日、畑幸一副議長から一身上の都合による副議長職の辞職願が提出され、全会一致で辞職が許可されました。

副議長辞職を許可した事で空席となった副議長の選任が引き続き行われ、町島洋一 議員、吉田孝司 議員の2名が立候補し執り行われた選挙の結果、過半数を獲得した町島洋一 議員が新たな副議長に選出されました。

角田議長の辞職願いを不許可

副議長の辞職・選任に引き続き、角田真美議長からも議長職の辞職願が提出されましたが、本会議で審議の結果、賛成少数で議長職の辞職は許可しないこととなりました。

議員発議2件を審議

今定例会では、「発議第5号 大規模太陽光発電（メガソーラー）に関する意見書を県に対して提出する事について」、「発議第6号 鏡石町議会改革特別委員会の設置について」の2件が議員発議として提出されました。

「発議第5号 大規模太陽光発電（メガソーラー）に関する意見書を県に対して提出する事について」は、産業厚生常任委員会（稲田和朝委員長）に付託され、全会一致で継続審査となり、

本会議の採決でも同様の結果となりました。

「発議第6号 鏡石町議会改革特別委員会の設置について」については、本会議での採決の結果、賛成少数により否決となりました。（審議結果は5ページ）

備品購入契約1件を可決

地方自治法に基づき議会の議決が必要となる備品購入契約1件が審議され、全会一致で可決されました。契約内容は、次のとおりです。

契約額	6008万7千5百円
契約先	（株）エフコム（郡山市）
内容	Chromebobook（コンバーチブルWi-Fi）1,150台

各常任委員会・議会運営委員会を改選

町議会には、総務文教・産業厚生・広報広聴の3つの常任委員会と議会運営委員会が設置されています。それぞれの任期は、町の条例で2年と定められており、この9月で任期満了を迎えることから改選が行われました。各常任委員会及び議会運営委員会の構成は、次のとおりです。

総務文教常任委員会

委員長	畑 幸一
副委員長	根本 廣嗣
委員	東 悟
委員	込山 靖子
委員	小林 政次
委員	角田 真美

産業厚生常任委員会

委員長	稲田 和朝
副委員長	円谷 寛
委員	町島 洋一

広報広聴常任委員会

委員長	熊倉 正麿
副委員長	町島 洋一
委員	東 悟
委員	込山 靖子
委員	円谷 寛
委員	角田 真美

議会運営委員会

委員長	円谷 寛
副委員長	根本 廣嗣
委員	町島 洋一
委員	稲田 和朝
委員	小林 政次
委員	畑 幸一

議員辞職に関するお知らせ

令和7年8月29日（金）中島伸子 議員より議員辞職願が提出され、同日議長が辞職を許可したことをお知らせ致します。

第9回定例会 審議の結果

◎提出議案23件

議案等番号	議案件名及び概要	審議結果
認定第3号	令和6年度鏡石町各会計歳入歳出決算認定について（令和6年度一般会計など全10会計決算の認定）	認定
報告第23号	令和6年度鏡石町財政健全化判断比率及び資金不足比率の報告について（地方公共団体の財政の健全化に関する法律に基づく報告）	報告のみ
議案第153号	教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて（任期満了に伴い、藤島絵美氏の再任を求めるもの）	同意
議案第154号	職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例の制定について（関係法令改正に伴う職員の育児を支援する為の改正）	可決
議案第155号	職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例の制定について（関係法令改正に伴う職員の育児を支援する為の改正）	可決
議案第156号	鏡石町税特別措置条例の一部を改正する条例の制定について（関係法令改正に伴う対象期限を3年間延長する改正）	可決
議案第157号	鏡石町農業集落排水処理施設設置条例の一部を改正する条例の制定について（関係法令改正に伴う災害その他非常時に他市町村指定業者が工事施工を可能とする改正）	可決
議案第158号	鏡石町下水道条例の一部を改正する条例の制定について（関係法令改正に伴う災害その他非常時に他市町村指定業者が工事施工を可能とする改正）	可決
議案第159号	鏡石町上水道事業給水条例の一部を改正する条例の制定について（関係法令改正に伴う災害その他非常時に他市町村指定業者が工事施工を可能とする改正）	可決
議案第160号	鏡石町文教施設維持整備基金の設置、管理及び処分に関する条例を廃止する条例の制定について（かがみいしこども未来基金への統合に伴い当該基金を廃止するもの）	可決
議案第161号	鏡石町保健センター設置及び管理に関する条例を廃止する条例の制定について（当該施設解体に伴い関係条例を廃止するもの）	可決
議案第162号	公立学校情報機器購入契約の締結について（タブレット1,150台の更新に係る物品購入60,087,500円の契約締結）	可決
議案第163号	令和7年度鏡石町一般会計補正予算（第2号）（令和6年度決算に伴う繰越金、財政調整基金積立金など406,275千円の増額補正）	可決
議案第164号	令和7年度鏡石町国民健康保険特別会計補正予算（第1号）（令和6年度決算に伴う繰越金、国保基金積立金など7,799千円の増額補正）	可決
議案第165号	令和7年度鏡石町後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）（令和6年度決算に伴う繰越金など719千円の増額補正）	可決
議案第166号	令和7年度鏡石町介護保険特別会計補正予算（第1号）（令和6年度決算に伴う繰越金、国・県等負担金返還金など66,794千円の増額補正）	可決
議案第167号	令和7年度鏡石町工業団地事業特別会計補正予算（第1号）（令和6年度決算に伴う繰越金など1,051千円の増額補正）	可決
議案第168号	令和7年度鏡石町鏡石駅東第1土地区画整理事業特別会計補正予算（第1号）（令和6年度決算に伴う繰越金、一般会計繰入金など9,340千円の増額補正）	可決
議案第169号	令和7年度鏡石町下水道事業会計補正予算（第1号）（管渠工事など1,604千円の増額補正）	可決
陳情第9号	国に対し「選択的夫婦別姓の導入など、民法・戸籍法改正を求める意見書」の提出についての陳情（福選択的夫婦別性制度の導入を求めるもの）	不採択
陳情第10号	国に対し「女性差別撤廃条約選択議定書のすみやかな批准を求める意見書」提出についての陳情（女性差別撤廃条約選択議定書のすみやかな批准を求めるもの）	不採択
追加第1号	副議長辞職について（副議長職辞職願の提出に対する審議）	許可
追加第2号	議長辞職について（議長職辞職願の提出に対する）	不許可
発議第5号	大規模太陽光発電（メガソーラー）に関する意見書を県に対して提出することについて（今後新規参入を認めない旨の意見書提出を求める発議；提出者吉田孝司議員）	継続審査
発議第6号	鏡石町議会改革特別委員会の設置について（特別委員会設置を求める発議；提出者吉田孝司議員）	否決

議会トピックス

石川郡玉川村議会 議会基本条例制定特別委員会・茨城県稲敷郡河内町議会 が行政視察で来町

9月30日（火）、玉川村議会（小針竹千代議長）・議会基本条例制定特別委員会（石井清勝委員長）の皆さんが来町し、鏡石町における議会基本条例案の検討経過やこれまでの改正履歴、現条例に対する率直な感想や意見、今後の改正見込み等、多岐に渡る積極的な意見交換を行いました。

玉川村では、今年度中の条例制定を目標としているとのこと、今回の機会が少しでも貢献できれば幸いです。

又、両町村には阿武隈川緊急治水対策プロジェクトとして遊水地が整備される事もあり、遊水地整備に関する意見交換も行われ、非

◎玉川村
たまかわむら
人口 5937人
世帯 2215戸
面積 46.67km²

議会基本条例の制定・運用について

常に有意義な機会となりました。すぐ隣の自治体とは言え、郡違いで中々交流の機会が乏しい両町村議会にとつて、非常に価値のある機会となった1日でした。



10月2日（木）茨城県稲敷郡河内町議会（高橋稔議長）の皆さんが、『議会基本条例の制定』をメインテーマに来町されました。現時点において河内町では、議会基本条例は未制定で、現在制定するか否かを検討中とのこと、鏡石町で制定に至った経緯や規定について意見交換が行われました。

又、河内町議会議員の皆さんが、田んぼアートやかんかんてらすにも興味を示されたことから、急遽、現地視察を追加させて頂きました。

関係各位の皆さんのご協力にこの場をお借りし御礼

◎河内町
かわちまち
人口 7638人
世帯 3354戸
面積 44.30km²

議会基本条例の制定について

申し上げます。河内町では、議員なり手不足対策や議会DX化の推進等に既に取り組んでおられるとのこと。次は、我々が学びを得る機会を設けたいと感じる1日でした。



第9回定例会 審議の結果（賛否が分かれたもの）

「○」賛成 「×」反対 「－」採決に加わらない。その他の議案は全会一致で可決した。

議案等番号	町島 洋一	熊倉 正磨	東 悟	根本 廣嗣	町島 洋一	稲田 和朝	込山 靖子	吉田 孝司	小林 政次	畑 幸一	円谷 寛	角田 真美	審議結果
追加第2号	－	×	×	×	×	×	×	○	○	×	×	除斥	不許可
発議第6号	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	－	否決

副議長就任の御挨拶

町島 洋一

この度、鏡石町議会副議長に就任し、一層の責任を感じると共に背筋が伸びる思いです。

私の好きな鏡石町の発展の為に少しでもお役に立てる様、自身の信念に基づき頑張る所存です。

今後ともよろしくお願い致します。



町島 洋一 副議長

総務文教常任委員会

陳情2件を審議ほか

総務文教常任委員会（畑幸一委員長）は、会期中、陳情2件を審議し、2件とも全会一致で不採択としました。

そのほか、町選挙管理委員会について、公職選挙法違反事例の判断について、公立学校情報機器の

購入について、担当課の説明を受けました。

産業厚生常任委員会

マイコスDDSR栽培のほ場等を調査

産業厚生常任委員会（稲田和朝委員長）は、会期中、桜町地内にある老朽化した太陽光パネルについて担当課の説明を受けた後、現地調査を行いました。現地調査では、マイコスDDSR（乾田水稻種直播）種培の実証ほ場の現地調査を行い、マイコス米の育成過程などについて説明を受けました。



◎常任委員会に付託された議案・陳情等の採決結果

付託された委員会	議案(陳情)番号・件名	採決結果	
		委員会	本会議
総務文教常任委員会 (畑幸一委員長)	陳情第9号 国に対し「選択的夫婦別姓の導入など、民法・戸籍法改正を求める意見書」の提出についての陳情	不採択	不採択
	陳情第10号 国に対し「女性差別撤廃条約選択議定書のすみやかな批准を求める意見書」提出についての陳情	不採択	不採択
産業厚生常任委員会 (稲田和朝委員長)	発議第5号 大規模太陽光発電(メガソーラー)に関する意見書を県に対して提出する事について	継続審査	継続審査



込山靖子議員

質問事項

- ほがらかんの節電対策
- 町内小中学生の学力
- 八芳園との連携事業

一般質問

一般質問

令和7年9月 第9回定例会

4名の議員が町政を問う



動画はこちらから

◎一般質問は、町政全般に対する議員主導の政策論議です。執行機関に疑問点をただし、その政治姿勢を明らかにするだけでなく、現行の政策の変更、是正、新規政策の採用などの効果もあります。（紙面の都合上、質問の一部を割愛しています。）

質問事項

- 農政政策
- ため池整備
- 高久田集会所の空地
- 東部環状線接続道路



根本廣嗣議員

農政制作

質問

乾田直播栽培が今年から始まった。何年計画を予定しているのか。

農業委員会局長

今年度、マイコス菌を活用した乾田直播栽培方法のマイコスD D S R栽培の実証実験を行っている。農林水産省より2027年度に水田の直接支払制度を見直し、乾田直播栽培も支援する考えが示されたことから、実証実験の結果を踏まえ今後も国県の動向を見据えながら方針を検討していきたい。

ため池整備

質問

スゲ池の整備は、保全会では無理な状況になっている。町で環境整備できないか。

都市建設課長

ため池の管理は、地元水利組合が管理をしている。現在、農業用水としての取水利用がない状況であるため、整備予定はないが、管理手法について地元の環境保全会の方と相談しながら進めていきたい。

高久田集会所の空地

質問

区民も草刈りが負担になっについて、木が大きく伐採が出来ない状況にあるが、町では、何か有効利用は考えているのか。

企画財政課長

現時点では、空き地を直ちに新たな活用に供する具体的な計画は持ち合わせていないが、樹木における支障木については、伐採などの対応待ちでできる場合があるため相談していただきたい。

東部環状線接続道路

質問

地権者との交渉などの進捗状況は。

町長

用地補償契約の締結に向けて協議を進めており、今年度を含めおよそ2年、その後に工事着手となる。国からの補助事業を活用しているため、継続邸に事業を進めていきたい。

質問

将来道路が開通したことで交通量が多くなると思うが、交通対策はどう考えているか。

町長

交通量の状況を把握しながら、状況の変化に応じて迅速に対策を講じる必要があるため、道路利用者の交通安全も含め、関係部署と連携しながら対応していきたい。

ほがらかんの節電対策

質問

令和4年度の町公共施設全体の光熱水費と令和6年度の光熱水費はいくらか。

総務課長

令和4年度と令和6年度の差額は、電気使用料11,020万円の増、上下水道使用料30万円の増となり、合計1,050万円の増となる。

質問

令和5年度から7年度にかけて、月ごとの電気料を比較してみて、冷暖房などにかかる電気料は上がっているのか。

福祉こども課長

令和6年度と7年度の冷暖房を使用する夏季期間を比較すると使用量・料金とも若干の上昇傾向が見られるが、施設全体の電気使用量に対して計算されるため、冷暖房の電気料が上がっているとは断定できない。

町内小中学生の学力

質問

今年の全国学力テストの鏡石町小中学生の結果は、各科目福島県平均より上か下か。

教育長

小学生は、国語・算数・理科の全て福島県平均を下回っており、中学生は、国語・数学は平均を上回り、理科はわずかに県平均を下回っている。個別指導の充実や授業の改善を通じた学力向上の取組に努めていきたい。

質問

学習状況調査により、学力低下の原因がわかったことはあるか。

教育長

全国学習状況調査の結果から、自己肯定感が低い児童生徒が多いことがわかった。また、平日の学習時間の十分な確保、本を全く読まない児童生徒も少なくない。

八芳園との連携事業

質問

八芳園と連携するに至った経緯と目的・理由は何か。

企画財政課長

平成元年に県立岩瀬農業高等学校と八芳園が「グローバルGAPの認知度向上」、「福島県産食品の安全性のPR」、さらには人材育成を目的とした産学連携協定を結んだことにより、無添加麹あまぎけ、ふるさと納税返礼品として採用されたことを契機に、町と八芳園との連携協定を締結することになった。

八芳園の持つブランド力や発信力、農産資源や地域資源の組み合わせることで、町の知名度向上や関係人口・交流人口の拡大につな

げていく目的である。

質問

農家の主役のカフェ開催の町の目的は何か。

町長

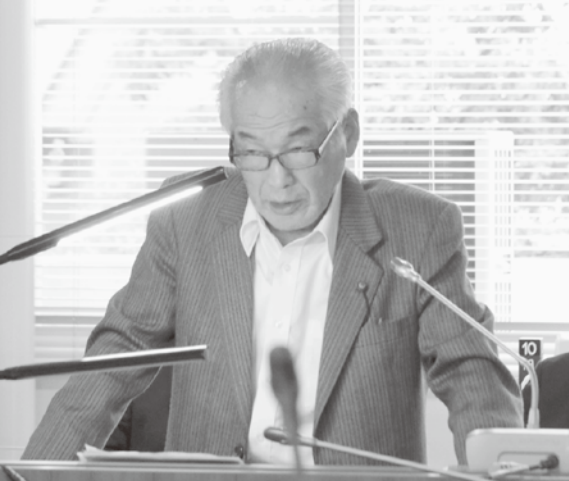
町の基幹産業である農業の魅力を活かして、交流人口・関係人口の拡大と農業振興及び地域経済の活性化、観光促進に繋げていくことを目標にし、地元農家と連携し、新鮮な野菜や果物を使った料理とスイーツを提供することで、鏡石町への関心喚起とリピーターの獲得につながる重要な役割を果たすと考えている。

質問

八芳園との連携事業はいつまで続けるのか。

企画財政課長

協定締結の際に有効期限を1年間とし、意思表示がなければ自動更新される仕組みとなっており、現時点において終了の予定はなく、引き続き継続していきたい。



円谷 寛議員

質問事項

- 公園墓地の建設
- 駅東開発の促進
- 米作りへの節水化・省力化への町支援
- 成田遊水地事業への取り組み

企画財政課長
準工地域の特性を踏まえながら、町全体の発展と雇用創出に資するよう、一般財団法人日本立地センターなどと連携しながら積極的

質問
町はこの地域の開発をこれからどう進める考えなのか。

駅東開発の促進

健康環境課長
近年の墓地に対する考え方の多様化に対応できるよう町営墓地に求められる役割、需要動向を整理しながら、墓地公園などの墓地形態も含めた墓地事業の調査研究を進めていきたい。

公園墓地の建設

質問
公園地の中に樹木葬墓地を作るような発想の転換はできないか。

健康環境課長

近年の墓地に対する考え

方の多様化に対応できるよ

う町営墓地に求められる役

割、需要動向を整理しなが

ら、墓地公園などの墓地形

態も含めた墓地事業の調査

研究を進めていきたい。

に企業誘致活動に取り組んでいきたい。

質問

計画に年次毎にどのような進め方をするのかを明らかにされたい。

都市建設課長

事業計画変更認可後の令

和8年度から造成及び道路

工事等の設計に着手し、令

和9年度から令和10年度に

かけて、造成及び道路工事

等を行い、令和10年度中の

引き渡しを想定している。

事業計画変更後は事業者の

募集を実施し、町との基本

協定を締結することが可能

になることから、関係各課

と連携しながら事業の推進

を図っていききたい。

米作りへの節電化・省力化への町支援

質問

米作りの節水化・省力化への取り組みを、町はどの

成田遊水地事業への取り組み

質問

宅地や農地が移転となる対象者の問題は、ほぼ解決されたと言えるのか。

町長

移転となる世帯について

町健康福祉センター「ほがらん」の今後のあり方

質問

「ほがらん」は、そもそも何を目的に建設された施設なのか、その位置づけや存在意義などを問う。

福祉こども課長

令和5年10月に老朽化した施設の集約化と施設の更新により町民の健康・福祉・子育て、防災拠点として建設され、これまで様々な会議や各種事業を実施している。

町役場庁舎建設計画

質問

財源の確保をどう考えているか。

総務課長

町では、「役場庁舎等新築事業基金」に積立てしており、庁舎建設には、多額の事業費を必要とすることから、町の財政事情を考慮し基金、起債、一般財源を組み合わせる必要があると

考える。

町民の健康課題

質問

令和7年度から10年計画としてスタートした「第2次生き生きヘルスプランかがみいし」に置いてわが町では急性心筋梗塞による死亡率が顕著に高いと断定しているが、その根拠を問う。

健康環境課長

厚生労働省が公表している人口動態保健所・市区町村別統計で、平成30年から令和4年の5年間の人口動態統計のデータを下作成している。急性心筋梗塞の全国平均が100とした場合、本町の数値が男性で231.7、女性が269.7で、急性心筋梗塞による死亡率が全国の2倍になっている状況である

ポストコロナ時代における各種行事のあり方

質問

町敬老会で、町全体で敬

老会を行わなくなった理由を問う。

教育課長

新型コロナウイルス感染症の拡大のため、令和2年度に中止し、以降新たな変異株による感染の危険性があるため再開してない。現在は、民生児童委員と職員で集会所にて敬老祝品を配布している。

町内における太陽光発電

質問

町内における太陽光発電の実態を問う。

健康環境課長

太陽光発電目的で農地転用されたのは、平成23年度から令和6年度末で6.2haであり、太陽光発電施設用地として分類されている令和7年度課税状況は、42.7haとなっている。

手話言語条例

質問

県内各町村における条例

制定の状況は如何か。

福祉こども課長

県内59市町村中27市町村で条例制定をしている。近隣では矢吹町のみが制定している。聴覚に障害のある方にとって、手話はコミュニケーションをとる大切な手段であり、障害者基本法にも手話は言語として明記されている。

景気対策及び物価高騰対策

質問

町で既に行っている景気対策や物価高騰対策はあるか。

企画財政課長

主に「地方創生臨時交付金」を財源に実施している。令和6年度は、住民税非課税世帯へ3万円給付、18歳未満児童に対する子ども加算2万円給付、合わせて県事業の上乗せの追加給付、町内の社会福祉施設に対する支援金の交付に取り組んでいる。令和7年度は「プレミアム商品券発行事業」を提案している。



吉田孝司議員

質問事項

- 町健康福祉センター「ほがらん」の今後のあり方
- 町役場庁舎建設計画
- 町民の健康課題
- ポストコロナ時代における各種行事のあり方
- 町内における太陽光発電
- 手話言語条例
- 景気対策及び物価高騰対策